

保護者等向け放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	ご意見	対応
環境・ 体制整備	子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3		・利用者が多くなってきたからどうか ・工夫してスペースを使っていると思うが、もう少し広いと人数が多い時などは良いか	現在利用者人数は最大8名となる日があります。おやつを食べるテーブルが足りない場合、個別の座位保持にテーブルを取り付けて対応しています。 また、感染対策としてのソーシャルディスタンスを取りながら、お互いが向き合わないような環境設定としています。 活動（遊び）の空間では、テーブルを片付けたり、小部屋に荷物を入れてメインフロアを広く取り活動はできている状況です。 現在感染対策の影響で外遊びや1Fの高齢者施設と連携した活動は展開できていませんが、感染状況が落ち着けば活動範囲を広くしていきたいと考えています。
	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2		・専門性の方にもっと利用者（ストレッチなど） ・PT/OTの専門性をどこまで求めているかわからない	リノアでは「遊び」の中でそれぞれの専門性を活かしながら活動を展開しております。専門性を活かした介入は行っていませんが、個別介入のご要望が多い場合は、個別的リハビリテーションを検討していく必要があるかもしれません。
	事業所の設備などは、スロープや手すりの設置など	8				
適切な支援 の提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析される	8	1		・イベントに関しては本当に本人がやりたいのかわからない	イベント内容は子どもたちの希望やご家族の希望に合わせて計画、実施しています。 やってみて「楽しい」「想像とは違う」という「体験」を、これからも子どもたちと一緒にチャレンジしていきます。 イベントの日は参加は義務ではありませんので、不参加であれば、通常の活動で利用することは可能です。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	7	2		・わからない	現在、「社会体験」「創作」「運動」「感覚」「音楽」に活動のテーマを分類した上で月間計画を立案しています。 完全にそのテーマに沿うことはせず、その時の子どもたちの様子や、人数構成によって活動を決定します。 活動の様子はできるだけ写真や動画でお届けすることは継続的に行なっています。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない	1	6	2	・今はコロナなので仕方ない	障害のあるなしに関わらず、誰でも遊べるスペースを作りたいと思っています。そのため環境づくりはとても難しいテーマですが、ご家族や地域の方々と一緒に話し合いながら、地域特性に合わせた「あり方」を模索していこうと考えています。
保護者への 説明など	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がない	7	2		・おやつ代に関する値段設定がわからない ・イベントに関する値段設定が不明瞭	アンケートへのご協力ありがとうございます。 おやつは1つ50円で用意しております。2つ食べた場合は100円となります。用意するおやつは50円を超えない範囲で用意しておりますが、子どもたちやご家族の考えをお聞かせいただき、バラエティを増やしていきたいと思っております。 イベントの費用については、明細がなく不明瞭でしたので、複雑な会計となる場合は、精算を提示していきます。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもと保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支	9				
	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支	9				
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による	1	4	4	・今はコロナなので仕方ない（顔を合わすこともない） ・新型コロナ感染が収束したら再開してほしい ・今後たくさん交流できると良い	感染症予防のため実行できておりませんでした。希望されるご家族向けに交流の場の提供を検討しています（感染症予防対策に基づき実施します）。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を	8	1		・そのような経験がないのでなんとも言えない	
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	8	1			
	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事	6	3			Facebookページにて更新しておりますが、更新頻度を増やしながら活動報告を行なっていきます。 また、自己評価については年度末に提示していく方針としています。
個人情報に十分注意しているか	9					
非常時 対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対	4	4		・避難訓練などを行なっているようだが詳細がわからない ・マニュアルがよくわからないためプリントなどがあると良い	災害訓練は年度毎に訓練計画を立案して実施しています。 災害発生時の対応方法は昨年度、ご家族の皆様にも確認いただきました内容をもとに作成しておりますが、再度更新したものを周知いたします。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その	9			・1Fで火事などがあった時、2Fから滑り台のようなものがあると良い	2階からの避難経路は2方向あり、停電時は階段を降りる必要があります。現在、大きめの丈夫なシートを用意して大人2名体制で担いで降りる訓練を実施しています。 2階からの滑り台設置は、遊具としても検討できるかもしれません。
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1			
	事業所の支援に満足しているか	7	2			

事業者向け放課後等デイサービス評価表							
	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	意見	優先度	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	3	2		・利用者増に対して狭く感じることがある ・ものが多く整理されていない	早急な対応は必要ない	今後更なる利用者増によるスペース不足が発生した場合、活動の工夫が必要となる
	2 職員の配置数は適切であるか	5			・基本対応が1:1になるように調整されている		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2			早急な対応は必要ない	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			・適宜全スタッフの目標を確認している ・コミュニケーションが円滑である		
	5 保護者等向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者などの意向などを把握し、業務改善につなげているか	3		2	・2021年度から実施している	対応済み	今年度より実施している
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページに公開しているか		2	3		対応済み	今年度より実施している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	・予定されていない	早急な対応は必要ない	今後、チームで解決し得ない問題が発生した場合は検討する必要がある。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・事業所内にて専門職より知識伝達を行なっている		
	9 アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・面談にて聴取しチームで個々の目標を設定している		
	10 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		・独自のアセスメントシートを使用している	検討中	エビデンスでは弱い部分もあるが、利用児童の個性に合わせた独自のアセスメントツールを活用している。今後、重点児童に合わせた標準化ツールの活用は検討している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	5					
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			・月間スケジュールは2ヶ月前に設定しチームで打ち合わせされている ・7項目に活動を分類している		
	13 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	1		・休日はイベントを計画している		年間スケジュール、月間スケジュールを作成して予定をたてている。祝日、長期休暇にはイベントを計画している。
	14 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5					
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5					
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	5			・少人数のため（実施されている）		
	17 日々の支援に関して正しく記録を取ることが徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	2	1	・情報共有化されている ・業務日報にて記録されている ・活動7項目の振り返りがされていない	要検討	支援に必要な情報は記録できている。活動に変化を持たせるための『7つの活動分類』は活用できていない。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・半年ごとに実施している		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行なっているか	2	2	1	・スタッフ全員が既読	対応済み		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最も相応しいものが参画しているか	5			・専門分野ごとに必要な専門職が参加している		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか	5					
	22 医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医などと連絡体制を整えているか	4	1		・指示書・手順書にて管理されている		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	1	4		・卒業した児童がいない	早急な対応は必要なし	卒業を控えている児童が利用しているため、卒業環境に引き継げる情報をまとめたり、他事業所と連携しながら、当人の過ごしやすい環境への一助となる情報提供を実施していく予定。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		・地域資源との交流は密にあるがセンターとの関係性は気薄		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	3	2	4	・感染症蔓延防止のため未実施	要検討	元里間に対しての情報提供はしていないため、今後実施していく必要がある。
	27 (地域自立支援) 協議会などへ積極的に参加しているか	3	2				
	28 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1				
保護者への説明責任	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行なっているか	3	2				
	30 運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか		2	3		対応済み	明確な収支報告は発信できていない。イベントなどにかかる費用の伝達は保護者からの要望もあったため、発信していく必要あり。
	31 保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	2	3				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか		5		・家族同士がコミュニケーションを取れるイベントが少ない ・保護者会を企画したら良い	要検討	保護者会や外部発信や情報収集のための機会を作り、コミュニケーションの機会を増やしていく必要がある。
	33 子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3		・スタッフに共有し事実を報告している	対応済み	都度職員間で問題を共有し、再発予防や対応策について定期ミーティングの議題にしている。
	34 定期的に開放などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子供や保護者に対して発信しているか	5			・活動計画については2ヶ月前に発信している		
	35 個人情報に十分注意しているか	3	2		・了承ある情報を共有している（写真や動画）		
	36 障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5					
	37 事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	5			・リノア祭りみたいな行事で地域交流ができるとうい	要検討	感染状況が落ち着いたら、地域への発信の機会を検討していく必要がある
	非常時などの対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3	1	・保護者への周知が全てではない	要検討
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか		5					
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切に対応をしているか		3	1	1			虐待案件が発生した場合には適宜対応部署と連携できる準備ができています
41 どのような場合にやむを得ずしんたいこうをおこなうかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		5					
42 食物アレルギーのある子供について意思の指示書に基づく対応がされているか		5					
43 ヒヤリハット事例表を作成して事業所内で共有しているか	1	3	1	・事例共有から始めていく必要がある	対応済み	ヒヤリハット文面を見直して施設に合わせた記録方法を作成している。	